

2019年6月26日

国際復興開発銀行が発行するグリーンボンドへの投資について

～気候変動問題の解決に向けたESG投資の推進～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、世界銀行グループの国際復興開発銀行(以下「IBRD」)が発行するグリーンボンド(総額約 108 億円)の全額を購入しましたので、お知らせいたします。

当社は、日本全国の約 1,000 万名のお客さまからの保険料をもとに、約 35 兆円の資産を運用する機関投資家(ユニバーサル・オーナー)として、「QOL向上」、「地方創生・地域活性化」、「気候変動」を重点テーマとしてESG投資を推進しており、以下の通り国際開発金融機関等が発行するSDGs債にも積極的に投資しています。



IBRD は 2008 年に初のグリーンボンドを発行し、グリーンボンド市場の基本的な枠組みを作りました。世界銀行グループとしては、「気候変動への適応と強靱化に関する行動計画」を 2019 年 1 月に公表し、気候変動への適応策のため 2021～25 年度に 500 億ドルの投資を実施することを表明しています。

本債券によって調達された資金は、再生可能エネルギーやクリーンな都市交通の整備をはじめとした、温室効果ガスの排出削減および気候変動の影響に対処するための開発プロジェクトへの融資に充当されます。当社は、本債券への投資を通じて安定収益を確保するとともに、気候変動問題の解決に向けた IBRD の取組を資金面からサポートし、その進捗状況等を継続的にフォローしていきます。

当社は、引き続き運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG 投資に積極的に取り組んでいきます。

《ご参考》これまでの国際開発金融機関発行のSDGs債への投資事例

発行体	債券名称	リリース日	リリース URL
欧州復興開発銀行	マイクロファイナンス・ボンド	2015/12/7	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2015_069.pdf
	ヘルス・ボンド	2018/3/13	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2017_078.pdf
国際金融公社	インクルーシブ・ビジネス・ボンド	2014/12/15	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2014_085.pdf
米州開発銀行	EYEボンド	2015/7/13	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2015_027.pdf
アフリカ開発銀行	フィード・アフリカ・ボンド	2016/11/1	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2016_062.pdf
	ライト・アップ・アンド・パワー・アフリカ・ボンド	2017/9/28	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2017_034.pdf
アジア開発銀行	ヘルス・ボンド	2017/3/29	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2016_097.pdf
	ジェンダー・ボンド	2017/11/27	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2017_053.pdf

【本債券の概要】

発行体	国際復興開発銀行(S&P 格付:AAA、Moody's 格付:Aaa)
発行額	1,920 百万メキシコペソ(約 108 億円)
償還期間	10 年

【世界銀行について】

世界銀行(国際復興開発銀行、通称 IBRD:International Bank for Reconstruction and Development)は、1944 年に設立が合意された国際開発金融機関で、現在 189 の加盟国が出資し運営しています。加盟国の公平で持続可能な経済成長を目指し、地域及び世界規模の経済や環境問題に効果的に対処していくために、世界銀行は中所得国に対し、融資・保証、リスク管理サービスに加え、開発に関わる様々な分野の専門的な分析・助言サービスを提供しています。世界銀行の目標は、世界全体の極度の貧困を終結し、すべての人々が共に豊かに暮らせるよう繁栄の共有を実現することです。世界銀行は融資資金を調達するために、70 年以上にわたり国際資本市場で世銀債を発行しています。